

山形大学人材育成プログラム2024 リーンマネジメント推進リーダーコース

事業改善、収益改善、生産性向上を担うリーダー人材に必要な
マインドセット、マネジメントの基礎、スキルセットを実践的に学びます。

2024年度受講生
先行受付開始

デジタルトランスフォーメーション等による大変革の時代、パラダイムシフトが起こり、従来型のマネジメントや部分最適生産革新が行き詰まっています。そんな中でも**企業や従業員がもっと豊かになるため**、幅広いものの見方の必要性、新時代のマネジメントを理解した上で、全体最適・科学的根拠に基づくリーンマネジメントおよび生産性向上のための専門的ノウハウ、手法を習得し、最大限活用・実践するための方法・考え方を学びます。

受講期間 毎週火曜開催 全17回

2024.7/2(火)～10/29(火)

受講形式：対面、オンラインおよび両方のハイブリッド
対象者：企業・工場・業務のリーダーおよびリーダー候補
定員：社会人25名（先着順）
受講料：社会人25万円/人

講師紹介



小野寺 忠司
山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター
センター長



菅生 達仁
山形大学 准教授
アントレプレナーシップ教育研究センター
副センター長



柴田 孝氏
山形大学 客員教授



成沢 俊子氏
ピーキューブ株式会社
代表取締役



石山 氏
ものづくり
経営コンサルタント

受講申し込み

申込〆切：5/10（金）

- 申し込みフォームによるお申し込みの場合
…左記QRコードまたは下記URLからお申込みください。
<https://forms.gle/Ry1eSiTcB6TqSaKh7>
- 申込書によるお申し込みの場合
…裏面に記入いただき、ご郵送またはFAXでお申し込みください。



主なプログラム内容

- リーダーシップ・マインドセット
現状認識と目標設定（ありたい姿）の必要性
幅広い/正しいものの見方、モチベーションを高める思考法、他
- 新時代のマネジメントの基礎
リーンマネジメント、ものづくりの定義、付加価値の高め方、他
- スキルセット（主に生産性向上）
リーン生産方式、ものと情報の流れ図/動線図の活用、
TWI（Training Within Industry）他
- プラクティス（主に生産性向上）
現場実習、成果発表、他



昨年度受講者の声

- ・実際に改善効果が上がっている企業で実践されてきた手法を学ぶことができ、とても良い学びの機会になりました。
- ・現場実習等で、より実践に近い視点や考え方で取り組むことができ、自社での改善意欲につながる心境で講義を終えることができた。
- ・早速現場のマニュアルと照らし合わせ「作業分解シート」と同形式で「手順」や「急所」など表現してマニュアル整備に着手しています。
- ・多様な企業からの受講者の考え方や意見は、これまでの自分の考え方には非常に参考となるものが多く、良い気付きとなりました。
- ・グループディスカッションの回数を重ねる事により、自分の意見を言うようになり非常に良かった。
- ・講師陣の本気で良い会社、儲かる会社になってほしいとの熱意が感じられ研修が進むに連れて受講者も本気になっていったと感じた。

山形大学人材育成プログラム2024 リーン・マネジメント推進リーダーコース

受講申込書

申込日	年 月 日		
フリガナ	生年月日		性別
氏名 (漢字)	年 月 日		男・女
企業名			
所属部門			
役職			
住所	郵便物を受け取ることのできる住所 (いずれかに○ 勤務先・自宅) 〒		
電話番号 (固定電話)	電話番号 (携帯電話)		
E-mail	※講義で使用するPCのアドレスをご記入ください。個人用に会社等で常に使用しているアドレスを推奨します。		
応募動機			
ご対応窓口 (氏名・連絡先)	※ご本人と異なる対応窓口がある場合は記載してください。		

※プログラム期間、内容は現在検討中であり、変更になる可能性があります。申込者には、詳細が決定次第、ご連絡いたします。
※申込者多数の場合は、選考を行うことがあります。

個人情報取り扱いへの同意について

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターでは、お預かりした個人情報について、以下のとおり適正かつ安全に管理・運用します。

- 利用目的
当センターは、収集した個人情報について、以下の目的のために利用します。
なお、提供された個人情報を適切に管理し、これ以外の目的には利用しません。
(1) 申し込まれたプログラムの受講に必要な資料の送付のため
(2) 申し込まれたプログラムに関する受講者の問い合わせに対応するため
(3) 申し込まれたプログラムに関する連絡事項を受講者へ送付するため
(4) 申し込まれたプログラムの受講者の受講状況の把握及び管理を行うため
(5) 申し込まれたプログラムの改良や、新たなプログラム開設のための受講者の属性に応じた統計的利用のため
(6) 申し込まれたプログラムの修了に伴う修了証の授与のため
(7) その他、申し込まれたプログラムの開設及び運用に必要な目的のため
(8) 当センターが将来開設するプログラムの案内をするため
- 第三者提供
当センターは、以下の場合を除いて、個人データを第三者へ提供することはありません。
(1) 法令に基づく場合
(2) 人の生命・身体・財産を保護するために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合
(3) 公衆衛生の向上・児童の健全な育成のために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合
(4) 国の機関や地方公共団体、その委託者などによる法令事務の遂行にあたって協力する必要があるため、かつ本人の同意を得ることで事務遂行に影響が生じる可能性がある場合
- 開示請求
貴殿の個人情報について、ご本人には、開示・訂正・削除・利用停止を請求する権利があります。手続きにあたっては、ご本人確認のうえ対応させていただきますが、代理人の場合も可能です。詳細については、以下「個人情報相談窓口」へご連絡ください。
個人情報相談窓口
総務部総務課法規・訟務担当
〒990-8560 山形市小白川町1丁目4番12号
TEL.023-628-4009
[受付時間] 9:00~17:00 (12:00~13:00を除く。)
[休業日] 土・日・祝日、12月29日~1月3日、
その他大学が定めた一斉休業日

私は、私に関する個人情報について、同センターが上記のとおり取り扱うことについて同意します。

令和 年 月 日

本人署名

以上

ご参考: 2023年度リーンマネジメント推進リーダー育成コースカリキュラム

カテゴリ		テーマ	内容	時間	講師
開校式					
7/4(火)	開講式	開講式	主催者挨拶、事務連絡、自己紹介	1.0	
		特別講演	スリーエムジャパンプロダクツ株式会社 山形事業所長 中川 英治 様	1.5	
講義 (オンライン, または※ハイブリッド)					
7/11(火)	リーダーシップ マインドセット	本コースがなぜ必要か 視野を広げるための思考法	現状認識とありたい姿、トータルモチベーション 正しいものの見方/目標設定の必要性 モチベーションを高める思考法	4.0	柴田
7/18(火)		アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップとリーンマネジメント	2.0	菅生
		DX時代のマネジメント	DXがもたらす変化に対するマネジメント データドリブン経営	2.0	柴田
7/25(火)	新時代の マネジメントの基礎	リーンマネジメントの基礎	ビジネス全体プロセスの見える化 マネジメントの重要性 (品質、ばらつき) ものづくりの定義	4.0	柴田
8/1(火)		付加価値の高め方 (ビジネスモデル) ※ハイブリッド	新しいビジネスモデルの考え方 アンゾフのマトリックスと水平垂直展開 グループディスカッション	4.0	柴田
8/8(火)		経営数字の見える化	財務状況の見える化、科学的な経営 損益計算書、損益分岐点、利益感度分析、見積の仕方	4.0	石山
8/22(火)	スキルセット (生産性向上)	リーン生産方式	ムダを省いて価値を高める 人・モノ・時間のムダ リードタイム短縮・在庫量削減・直行率向上	4.0	成沢
8/29(火)		VSM、動線図の活用① ※ハイブリッド	線の改善とVSM(モノと情報の流れ図) 動線図の活用	4.0	成沢
9/5(火)		VSM、動線図の活用② ※ハイブリッド	VSM、動線図を活用した問題解決手法 所属企業の現場のVSM、動線図作成	4.0	成沢 柴田 石山
9/12(火)		点の改善① ※ハイブリッド (TWI-JM 改善の仕方)	改善・TWIのヒストリー 線の改善と点の改善 作業を観察しECRSで改善していく、標準作業とTWI-JM	4.0	成沢
9/19(火)		点の改善② ※ハイブリッド (TWI-JI 仕事の教え方)	教え方の4段階、教えるための作業分解 教えるための用意の仕方	4.0	成沢
9/26(火)		良い職場、よい人間関係 ※ハイブリッド (TWI-JR 人の扱い方)	人の問題を扱う4段階法 言い分や気持ちをつかむ 確かな信頼関係が、よりよい問題解決を導く	4.0	成沢
10/3(火)		プラクティス (生産性向上)	講義の振り返り ※ハイブリッド	現状認識の再確認 受講者の具体的な課題に対する相談	2.0
	現場実習の進め方 ※ハイブリッド		現場実習の事前説明、注意点	2.0	(online) 石山
現場実習 (対面 @協力企業様)					
10/10(火)	プラクティス (生産性向上)	現場実習①	企業工場見学1日目 現場調査・協力企業の課題ヒヤリング VSM現状図の作成 グループディスカッション	5.0	柴田 成沢 石山
10/17(火)		現場実習②	企業工場見学2日目 VSM・動線図の作成/改善案検討 グループディスカッション	5.0	柴田 成沢 石山
10/24(火)		現場実習③	企業工場見学3日目 VSMの将来図作成 成果発表会に向けたまとめ	5.0	柴田 成沢 石山
修了式					
10月31日(火)	修了式	成果発表会	成果発表 (各チームから)	1.5	
		講演	講演者調整中	1.0	
		修了式	修了証書授与	0.5	
				合計	68.5